

図書館だより 176

問い合わせ先
上野村図書館
☎・FAX59・2460

節分の日に、方位の神様とされる歳徳神がいる方角（恵方）を向いて（今年は南南東）、太巻（恵方巻）を食べる風習は、もともと関西地方で盛んでしたが、全国に広まりました。健康や商売繁盛などの願い事をしながら、無言で恵方巻を1本食べきるのが作法とされています。食べている途中で誰かと話したり、食べるのをやめたりしてしまうと、福が逃げるとされています。



●話題の本

芥川賞

『時の家』 鳥山まこと(講談社)…建築士でもある著者による、一つの平屋を舞台に“家”の視点から眺めた小説
『叫び』 畠山丑雄(新潮社)…大阪に移り住んだ男性が、土地の歴史を学ぶ中で当時を生きた青年と交わる物語

直木賞

『カフェーの帰り道』 嶋津輝(東京創元社)…大正から昭和にかけ、女給として働いた“百年前のわたしたちの物語”

●気なる本

『日本ご当地スーパー大全』 菅原佳己(辰巳出版)…見ているだけでもお腹がすきます!!

『がんばらないコンポスト生活』 服部雄一郎(アノニマ・スタジオ)…コンポストははじめませんか?

『医学的に正しい健康長寿365日』 玉谷実智夫(自由国民社)…不老長寿の生活習慣が身に付く!

二月のあかり
石垣 りん
二月には
土の中にあかりがともる。
遠足の朝など
夜明けの
まだ暗い空の下で
先に起き出したお母さんが
台所のデンキをつけるように
旅のしたくを始めるように。
二月にはぼっかり
土の窓にあかるいものがともる。
もうじき訪れる春を待つて。
草の芽や
球根たちが出発する
その用意をして上げるために
土の中でも
お母さんが目をさましている。

石垣りん(1920・2004)東京都港区生まれ。
詩人。日常語を用い、働く女性を描いた詩や、戦争体験に基づく社会性のある作品を発表し、社会と生活をみずえた詩風で注目された。
本詩は『レモンとねずみ』(童話屋)収録。

●節分に読みたい

『かえるをのんだととさんー日本の昔話ー』 日野十成 再話(福音館書店)…聞いて笑える昔話。気分爽快!

『おにたのぼうし』 あまんきみこ 作・いわさきちひろ 絵(ポプラ社)…優しい鬼の子「おにた」の節分の話



図書館ではこんなサービスをしています!

- 子育て応援サービス
子育てを支援する本や雑誌などがあります。
子育てのヒントをみつけたり、親子で一緒に本を読んだり、子育てをたのしみませんか?
- 健康長寿サービス
健康長寿のひけつは?
自分でできる健康づくりは? 大活字の本
図書館にはいろいろな本があります。
- 産業を応援サービス
くらしや仕事の応援・情報を提供します。

うえのむら図書館子育て支援 心を育む絵本とわらべうた・身体調和体操

2月25日(水) 午前10時~
横山由美子先生
2月12日(木) 午前11時~
2月26日(木) 午前10時~
武井礼子先生

毎月15日は「^{うちどく}家読の日」です。
それぞれのご家庭で、ぜひ取り組んでみてください。